整理番号　：00126105
作成日　：2003年 5月30日
改訂日　：2010年12月 1日

製品安全データシート

1．製品及び会社情報

製品名	：	パーケムマルチクリーナー２石
会社名	：	株式会社パーカーコーポレーション
住所	：	東京都中央区日本橋人形町２－２２－１
担当部門	：	化工品部
電話番号	：	03-5644-0604
FAX番号	：	03-5644-0664

2．危険有害性の要約

ＧＨＳ分類

物理化学的危険性	：	引火性液体	区分２
		自然発火性液体	区分外
健康有害性	：	急性毒性（経口）	区分外
		急性毒性（経皮）	区分外
		急性毒性（吸入／蒸気）	区分外
		皮膚腐食性／刺激性	区分２
		眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性	区分２Ａ
		呼吸器感作性	区分外
		皮膚感作性	区分外
		生殖細胞変異原性	区分外
		発がん性	区分２
		生殖毒性	区分２
		特定標的臓器／全身毒性（単回暴露）	区分３（気道刺激性、麻酔作用）
		吸引性呼吸器有害性	区分１
環境有害性	：	水生環境有害性（急性）	区分外
		水生環境有害性（慢性）	区分外

上記で記載がない危険有害性は、分類対象外または分類できない

ＧＨＳラベル要素

絵表示又はシンボル　：

注意喚起語　：危険

危険有害性情報　：引火性の高い液体および蒸気。
飲み込むと有害のおそれ。
皮膚に接触すると有害のおそれ。
皮膚刺激・強い眼刺激。
発がん性のおそれの疑い。
生殖能力または胎児への悪影響のおそれの疑い。
眠気やめまいおよび呼吸刺激を起こすおそれ。
飲み込んで気道に侵入すると生命に危険のおそれ。

注意書き　【安全対策】　：使用前に取扱説明書を入手すること。
すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
熱，火花，裸火，高温のもののような着火源から遠ざけること。－禁煙。
容器を密閉しておくこと。
防爆型の設備・機器・器具を使用し、静電気放電に対する予防措置を講ずること。
ガス、ミスト、蒸気、スプレーの吸入を避けること。
屋外または換気の良い場所でのみ使用すること。
取扱い後はよく手を洗うこと。
保護手袋、保護眼鏡、保護面、保護衣を着用すること。
必要に応じて個人用保護具を使用すること。

注意書き　【応急措置】　：吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
飲み込んだ場合：直ちに医師に連絡すること。無理に吐かせないこと。
眼に入った場合：水で数分間注意深く洗う。コンタクトレンズが容易に外せる場合は外し、洗浄を続ける。
眼の刺激が続く場合は、医師の診断、手当てを受けること。
皮膚又は髪に付着した時：直ちに、汚染された衣類を全て脱ぎ、取り除く。
皮膚を流水、シャワーで洗う。
皮膚に付着した場合：多量の水と石鹸で洗うこと。
皮膚刺激が生じた場合、医師の診断、手当てを受けること。
汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯すること。
暴露または暴露の懸念がある場合：医師の診断、手当てを受けること。
気分が悪い時は、医師に連絡すること。
火災の場合には、適切な消火剤を使用すること。

注意書き　【保　管】　：容器を密閉して涼しい所、換気のよい場所で施錠保管すること。

注意書き　【廃　棄】　：内容物や容器を、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

3．組成、成分情報

単一製品・混合物の区別　：混合物

化学名又は一般名　：石油系炭化水素

成分及び含有量

[文書通知対象成分]	[含有量(%)]	[化学式]	[官報公示整理番号]	[CAS No.]
ﾉﾅﾝ	1～10	C_9H_{20}	化審法　2-9	111-84-2
ﾉﾙﾏﾙﾌﾟﾛﾊﾟﾉｰﾙ	25～35	C_3H_7OH	化審法　2-207	71-23-8

[その他の成分]
石油系炭化水素

4．応急措置

吸入した場合　：蒸気、ミスト等を吸い込んで、気分が悪くなった場合には、新鮮な空気の場所に移動させ安静にし、必要に応じて医師の診断を受ける。

皮膚に付着した場合　：皮膚用洗剤等を用いて、流水で、十分に洗い流す。外観に変化が見られたり、異常が認められた場合には医師の診断を受ける。

目に入った場合　：直ちに清浄な水で 15 分以上洗眼した後、医師の手当てを受ける。コンタクトレンズを使用している場合は、固着していない限り、取り除いて洗浄

する。洗眼の際、まぶたを指でよく開いて、眼球、まぶたのすみずみまで水がよく行きわたるように洗浄する。

飲み込んだ場合　：誤って飲み込んだ場合は、水で口の中を良く洗浄し、コップ 1～2 杯の水を飲ませ、安静にして直ちに医師の処置を受ける。
医師の指示による以外は、吐かせないこと。揮発性が強いので吐き出させると、かえって肺への吸引等の危険が増す。

5．火災時の措置

消火剤　：霧状消火液、粉末消火薬剤、二酸化炭素、耐ｱﾙｺｰﾙ泡消火剤

使ってはならない消火剤　：棒状水

特有の消火方法　：消火活動は可能な限り風上から行う。
関係者以外は安全な場所に退去させる。
周辺火災の場合に移動可能な容器は、速やかに安全な場所に移す。

消火を行う者の保護　：消火作業では、適切な保護具(手袋、眼鏡、マスク等)を着用する。

6．漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急措置　：漏出時の処理を行う際には、できるだけ適切な保護具(手袋、眼鏡、マスク等)を着用する。

環境に対する注意事項　：漏出物を直接に河川や下水に流してはならない。

封じ込め及び浄化の方法・機材　：少量の場合、乾燥砂、土、その他の不燃性のものに吸着させて、密閉できる容器に回収する。
大量の場合には盛り土で囲って流出を防止し、安全な場所に導いてからドラム等に回収する。

二次災害の防止策　：熱、炎、スパークなど着火源となるものを速やかに取り除くと共に、消火剤を用意する。

7．取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策　：保護具を着用し、吸い込んだり、皮膚や目に付着しないようにする。
できるだけ風上から作業する。静電気対策を行い、作業着、作業靴は導電性のものを用いる。

局所排気・全体換気　：８．暴露防止及び保護措置を参照

注意事項　：蒸気の発散をできるだけ抑え、作業環境を許容濃度以下に保つようにする。密閉された装置、機器または局所排気装置を使用する。取り扱いは、換気の良い場所で行う。換気装置をつける場合は、防爆タイプを用いる。

安全取扱い注意事項　：炎、火花又は高温体、強酸化剤との接触を避けるとともに、みだりに蒸気を発散させない。使用後は密栓する。
指定数量以上の量を取り扱う場合は、消防法に定められた基準を満たした製造所、貯蔵所、取扱所で行う。

保管

適切な保管条件　：日光の直射を避け、通気のよい室内に保管する。火気厳禁。
危険物の表示をして保管する。
熱、スパーク、火炎並びに静電気蓄積を避ける。
保管場所で使用する電気器具は、防爆構造とし、器具類は接地する。
ハロゲン類、酸化性物質との接触並びに同一場所での保管を避ける。

安全な容器包装材料　：製品使用容器に準ずる。

８．暴露防止及び保護措置

設備対策	：屋内作業場では、防爆タイプの局所排気装置を設置する。 取扱い場所の近くに、洗眼及び身体洗浄のための設備を設置する。
管理濃度	：設定されていない
許容濃度	
日本産業衛生学会	：200ppm, 1050mg/m^3　(2006 年)　(ノナン)
ＡＣＧＩＨ	：TLV-TWA　200ppm, 1050mg/m^3　(2006 年)　(ノナン) TLV-TWA　200ppm, 492mg/m^3　(2006 年)　(ノルマルプロパノール)
保護具	
呼吸用の保護具	：有機ガス用防毒マスク、送気マスク等。
手の保護具	：耐溶剤性手袋。
目の保護具	：側面シールドつき保護眼鏡。
皮膚及び身体の保護具	：保護服、保護長靴、保護前掛け等。
衛生対策	：取扱い後は手、顔等を良く洗い、うがいをする。

９．物理的及び化学的性質

外観	
形状	：液体
色	：無色～淡黄色透明
臭い	：特異臭
ｐＨ	：該当しない
融点	：データなし
沸点	：データなし
引火点	：21℃以上 (タグ密閉式)
発火点	：データなし
爆発範囲	：データなし
蒸気圧	：データなし
蒸気密度 (空気=1)	：データなし
密度	：約 0.73
溶解性	：水に一部溶解。 石油系炭化水素等の有機溶媒に溶解。
オクタノール／水分配係数	：データなし

１０．安定性及び反応性

安定性	：通常条件では安定。
危険有害反応可能性	：通常の使用条件では安定。
避けるべき条件	：加熱、スパーク、裸火およびその他の発火源を避ける。
混触危険物質	：強酸化剤との混合。
危険有害な分解生成物	：データなし

１１．有害性情報

急性毒性（経口）	：飲み込むと有害のおそれ（区分５）
急性毒性（経皮）	：皮膚に接触すると有害のおそれ（区分５）
急性毒性（吸入／蒸気）	：（区分外）
皮膚腐食性／刺激性	：皮膚刺激（区分２）
眼に対する重篤な損傷性／刺激性	：強い眼刺激（区分２Ａ）

呼吸器感作性　：（区分外）
皮膚感作性　：（区分外）
生殖細胞変異原性　：（区分外）
発がん性　：発がん性のおそれの疑い（区分２）
生殖毒性　：生殖能力または胎児への悪影響のおそれの疑い（区分２）
特定標的臓器／全身毒性－単回暴露　：眠気やめまいおよび呼吸刺激を起こすおそれ（区分３）
特定標的臓器／全身毒性－反復暴露　：データなし
吸引性呼吸器有害性　：飲み込んで気道に侵入すると生命に危険のおそれ（区分１）

１２．環境影響情報

水生環境有害性（急性）　：（区分外）
水生環境有害性（慢性）　：（区分外）
残留性／分解性　：活性汚泥で分解する。
生体蓄積性　：データなし。
移動性　：データなし。

１３．廃棄上の注意

残余廃棄物　：廃棄する場合、都道府県知事の許可を受けた産業廃棄物の収集運搬業者や処分業者と契約し、廃棄物処理法（廃棄物の処理及び清掃に関する法律）及び関係法規・法令を遵守し、適正に処理する。特別管理産業廃棄物に指定されているので、同基準に従って委託処分する。
汚染容器・包装　：空の汚染容器・包装を廃棄する場合、内容物を除去した後に、都道府県知事の許可を受けた産業廃棄物の収集運搬業者や処分業者と契約し、廃棄物処理法（廃棄物の処理及び清掃に関する法律）及び関係法規・法令を遵守し、適正に処理する。

１４．輸送上の注意

国際規制
　国連分類　：ｸﾗｽ 3 引火性液体類
　国連番号　：1993
　品名　：その他の引火性液体
　容器等級　：Ⅱ
国内規制
　陸上輸送　：消防法、労働安全衛生法等に定められている運送方法に従う。
　海上輸送　：船舶安全法に定められている運送方法に従う。
　航空輸送　：航空法に定められている運送方法に従う。
輸送の特定の安全対策及び条件　：輸送前に容器の破損、腐食、漏れ等がないことを確認する。
転倒、落下、損傷がないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。

１５．適用法令

労働安全衛生法　：通知対象物（57 条の 2）　第 432 号　ﾉﾅﾝ
第 494 号　ﾌﾟﾛﾋﾟﾙｱﾙｺｰﾙ
施行令別表 1 危険物（引火性のもの）
消防法　：危険物　第四類第二石油類（非水溶性）

整理番号 ： 00126105
作成日 ： 2003 年 5 月 30 日
改訂日 ： 2010 年 12 月 1 日

毒物及び劇物取締法　：該当せず
ＰＲＴＲ法　：該当せず

１６．その他の情報

記載内容の問合せ先　：株式会社パーカーコーポレーション 技術本部 化学品技術室 技術二課
電話番号　03-5634-8491　　ＦＡＸ番号 03-5634-8495

引用文献　：原料供給者情報
：化学物質管理促進法データ　化学工業日報社
：GHS 分類結果データベース　製品評価技術基盤機構
：労働安全衛生法対象物質全データ　化学工業日報社
：危険物船舶輸送及び貯蔵規則（13 訂版）　海文堂
：製品安全データシートの作成指針（改訂 2 版）　日本化学工業協会編

ここに記載された危険性・有害性の情報は現時点で入手できた資料や情報に基づくものですが、情報の完全さ、正確さを保証するものではありません。化学物質の有害性には、予見できないこともあり、取扱いには細心の注意を払って下さい。記載事項は、通常の取扱いを対象としたものですので、特別な取扱いをする場合には、新たに用途・用法に適した安全対策を実施の上、お取扱い願います。また、この情報は新しい知見および試験等により改正されることがあります。